

令和元年度
保健所年報
(令和2年度版)



三重県熊野保健所

〒519-4324 熊野市井戸町 383 番地

総務企画課 【TEL】 0597-85-2158

健康増進課 【TEL】 0597-89-6115

衛生指導課 【TEL】 0597-85-2159

【FAX】 0597-85-3914 (共通)

【E-mail】 khoken@pref.mie.lg.jp

【URL】 <http://www.pref.mie.lg.jp/KHOKEN/HP/>

<丸山千枚田>



夏は田植えに虫送り、秋は稲刈りと豊かな実りを体験できます。

<木津呂>



まるで円盤のようなこの地形は、自然にできたものです。
ほかに見ることはできない唯一無二の絶景です。

目 次

第1編 管内概況	
1 熊野保健所の沿革	1
2 熊野保健所の位置図及び平面図	3
3 熊野保健所の組織及び業務概要	4
4 健康相談等の日程	5
5 人口動態統計	6
第2編 みえ県民カビジョン	
みえ県民カビジョン・第二次行動計画における事業実績	
第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～	
施策112 防災・減災対策を進める体制づくり	
基本事業11204 災害医療体制の整備	
1 災害医療体制強化推進事業	12
2 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業	13
施策121 地域医療提供体制の確保	
基本事業12102 医療分野の人材確保	
1 保健師活動状況	14
2 保健所実習指導	14
3 1日看護体験	14
4 紀南病院研修医研修	14
基本事業12103 救急医療等の確保	
1 地域救急医療対策事業	15
基本事業12104 医療安全体制の確保	
1 医務	16
施策124 こころと身体健康対策の推進	
基本事業12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進	
1 健康づくり総合推進事業	18
2 健康食育推進事業	19
3 栄養施行事務事業	20
基本事業12403 こころの健康づくりの推進	
1 自殺防止対策事業	22
基本事業12404 難病対策の推進	
1 原子爆弾被爆者対策事業	24
2 指定難病治療研究事業	25
3 難病在宅ケア事業	27
4 肝炎治療特別促進事業	27
5 骨髄バンク	28

施策 131	障がい者の自立と共生	
基本事業 13105	精神障がい者の保健医療の確保	
1	精神保健医療対策 29
基本事業 13106	障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり	
1	障がい者地域生活推進事業 31
施策 144	薬物乱用防止と動物愛護の推進等	
基本事業 14401	薬物乱用防止対策の推進	
1	不正大麻・けし対策 33
2	薬物乱用防止対策 33
基本事業 14402	人と動物との共生環境づくり	
1	犬・猫の収容、返還、処分、譲渡に関する事 34
2	苦情・相談受付状況と普及啓発事業の実施状況 35
3	動物取扱業の登録及び特定動物の飼養許可 35
基本事業 14403	医薬品等の安全な製造・供給の確保	
1	薬事 36
2	献血推進 37
基本事業 14404	生活衛生営業の衛生確保	
1	生活衛生 38
施策 145	食の安全・安心の確保	
基本事業 14501	食の安全・安心の確保	
1	食品衛生 39
施策 146	感染症の予防と拡大防止対策の推進	
基本事業 14601	感染予防のための普及啓発の推進	
1	結核・感染症発生動向調査事業 41
基本事業 14602	感染症危機管理体制の整備	
1	防疫対策事業 42
基本事業 14603	感染症対策のための相談・検査の推進	
1	エイズ対策 44
2	結核対策事業 45
3	結核医療 47
4	結核健康診断補助金 47
第2節	「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～	
施策 232	結婚・妊娠・出産の支援	
基本事業 23203	切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実	
1	母子医療給付事業 48
2	健やか親子支援事業 49

第1編 管内概況

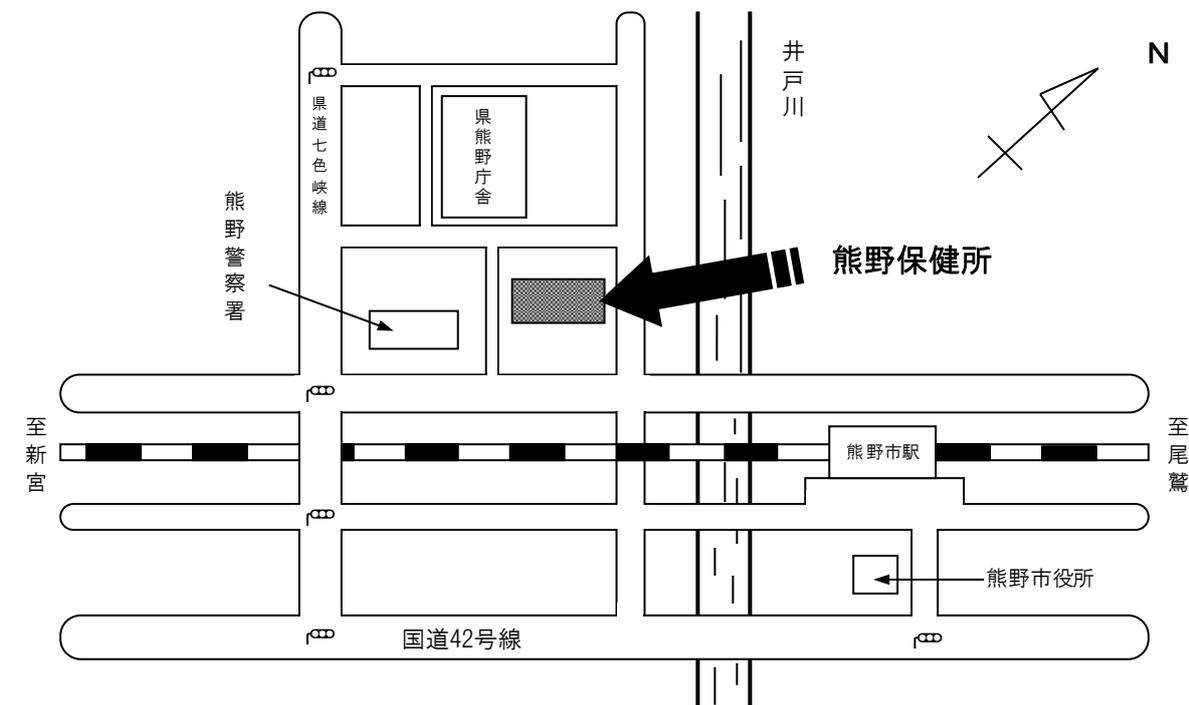
1 熊野保健所の沿革

昭和19年11月	南牟婁郡(21ヶ町村)を管轄区域とする三重県木本保健所が木本町1538番地に開設
昭和22年5月	警察衛生事務の保健所移管にともない、木本及び鵜殿両警察署より関係事務の引継ぎ完了
昭和23年11月	保健所に課制が施行され、総務、衛生、保健予防課、保健婦室の3課1室設置
昭和25年6月	南牟婁郡木本町赤坂695-14(借地)及び有井村大字井戸794-3に庁舎新築
昭和29年6月	管内北輪内村、南輪内村が尾鷲市に合併し、尾鷲保健所管轄区域となる
昭和29年11月	庁訓第702号により名称を熊野保健所と改称
昭和35年8月	次長制実施
昭和45年2月	熊野市井戸町井土383(井戸川右岸)において、新庁舎建設工事着工
昭和45年8月	新庁舎竣工
昭和45年9月	新庁舎移転完了、業務開始
昭和49年8月	冷暖房設備完了
昭和50年11月	犬舎増築、庁舎前庭整備
昭和51年4月	機構改革により環境課新設 衛生課を衛生指導課に改称
平成5年4月	保健婦室を保健指導課に改称
平成7年4月	身体障がい者用便所及び玄関の自動ドア並びにスロープの設置
平成9年4月	機構改革により、保健予防課、保健指導課を廃し、企画調整課、地域保健課を新設 庁舎内に「紀南健康長寿推進協議会」事務局が設置される(3名体制)
平成10年4月	機構改革により、熊野保健所、紀南福祉事務所及び児童相談業務の組織の統合がなされ、紀南県民局保健福祉部として発足する 従来の課制がグループ制に改正され、4グループが組織される〔企画総務G、健康増進G、福祉保健G、衛生検査G〕
平成13年4月	健康診断、検査業務の廃止、衛生検査グループを衛生指導グループに改称
平成14年4月	チーム制の導入により、紀南保健福祉部に福祉相談チーム〔経営支援G、生活支援G、子育て支援G〕、保健衛生チーム〔企画調整G、健康増進G、衛生指導G〕を設置し、部長、チー

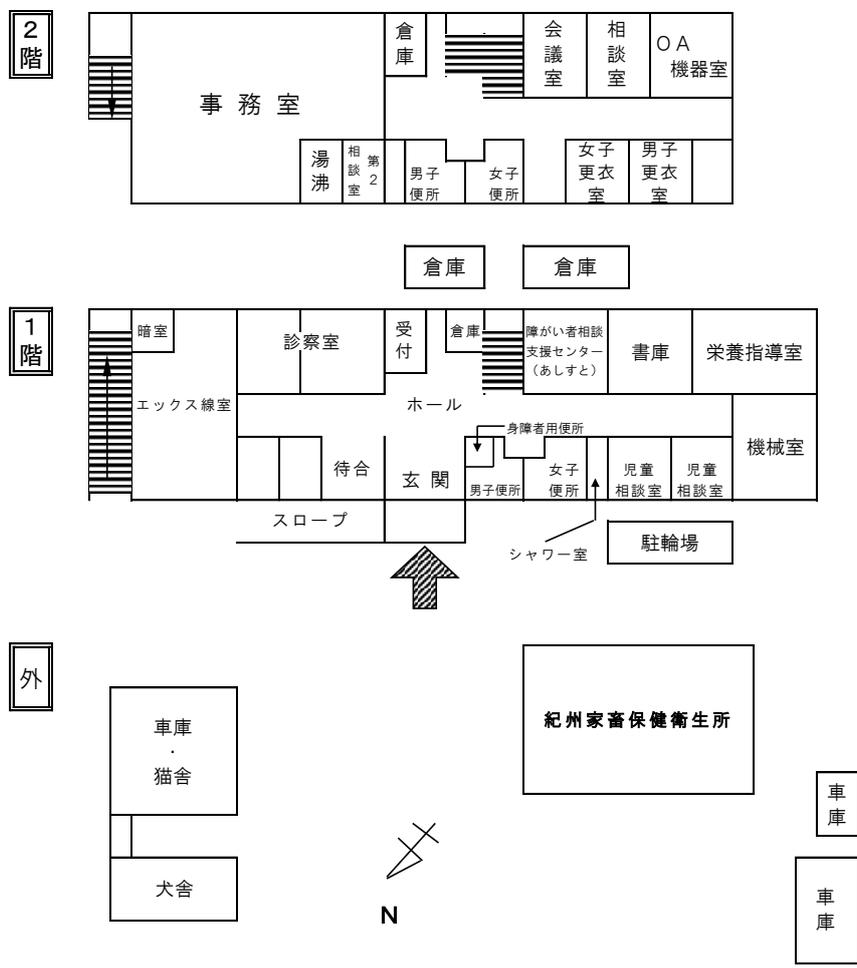
	ムマネージャー、グループリーダーを置く（保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する）
平成 15 年 4 月	グループの統合・改称により福祉相談チーム〔経営企画G、生活・子育て支援G〕、保健衛生チーム〔健康増進G、衛生指導G〕が組織される
平成 16 年 4 月	室制の導入により、福祉相談室〔経営企画G、生活・子育て支援G〕、保健衛生室〔健康増進G、衛生指導G〕を設置
平成 17 年 4 月	保健と福祉の事務機能の純化及び児童相談所のセンター化により、福祉相談室が企画福祉室〔企画市町村支援G、福祉G〕に改称し、精神、特定疾患業務が保健衛生室に移行、児童相談業務が分離され、紀州児童相談所駐在を設置
平成 18 年 4 月	機構改革により、県民局が廃止され、熊野保健福祉事務所として単独地域機関となる福祉相談室〔企画課、福祉課〕と保健衛生室〔健康増進課、衛生指導課〕の組織となり、紀南健康長寿推進協議会事務局の庁舎内設置は継続 紀州児童相談所駐在の廃止
平成 20 年 4 月	「紀南健康長寿推進協議会」事務局の庁舎内設置の廃止
平成 20 年 12 月	附属棟を紀州家畜保健衛生所に所属替え
平成 20 年 12 月	改修した検査室を栄養指導室に用途変更
平成 25 年 4 月	機構改革により、熊野保健福祉事務所が廃止され、熊野保健所、紀南福祉事務所として、単独地域機関となる
平成 30 年 4 月	機構改革により、健康福祉部が廃止され、医療保健部、子ども・福祉部を設置

2 熊野保健所の位置図及び平面図

(1) 位置図



(2) 平面図



3 熊野保健所の組織及び業務概要（令和元年度体制）

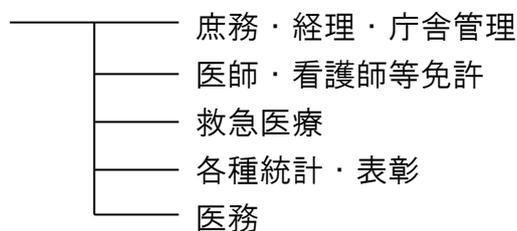
（1）職員組織及び事務分掌

◎所長（尾鷲保健所兼務）

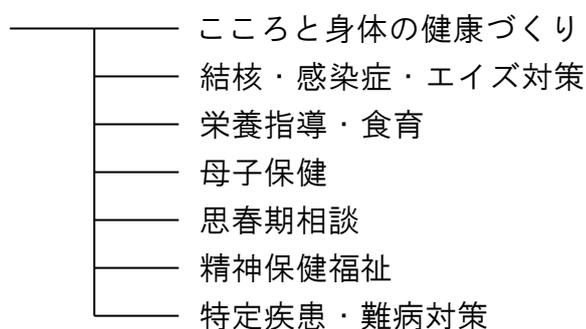
保健衛生室

◎副所長兼保健衛生室長

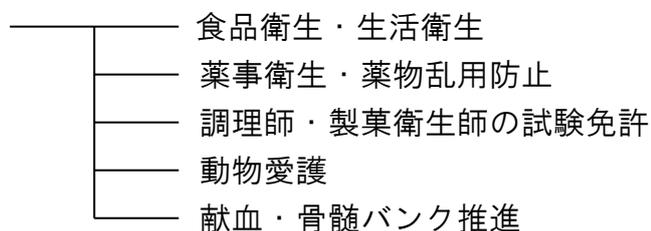
○総務企画課
（4名）



○健康増進課
（6名）



○衛生指導課
（3名）



（2）職種別職員数

（医師1名）、獣医師2名、薬剤師2名、管理栄養士1名
診療放射線技師1名、保健師4名、一般事務職4名

4 健康相談等の日程

令和元年4月1日現在

項目		実施日	受付時間	内容
エイズ	抗体検査	毎月第2・4火曜日 原則予約制です。	午後1:30～午後2:30	採血
	相談	毎週月～金曜日	午前8:30～午後5:00	相談
骨髄バンク 登録受付		毎月第4火曜日	予約が必要です。	登録手続 採血
覚せい剤等相談		毎週月～金曜日	午前8:30～午後5:00	相談 啓発資材貸出
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約はお電話でお願いいたします。 ・ エイズ検査は無料・匿名で受けられますが、証明書（有料）が必要な方は実名での検査となります。 ・ 祝日などの関係で日程等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。 				

5 人口動態統計

(1) 人口・世帯数・面積

令和元年10月1日現在

市町	世帯数	人口			面積 (k㎡)	人口密度 (人/k㎡)
		総数	男	女		
管内	16,362	34,753	16,050	18,703	541.10	64.23
熊野市	7,789	16,060	7,361	8,699	373.35	43.02
御浜町	3,727	8,124	3,797	4,327	88.13	92.18
紀宝町	4,846	10,569	4,892	5,677	79.62	132.74
三重県	744,644	1,779,770	869,046	910,724	5,774.42	308.21

推計人口(月別人口調査結果:三重県)

※人口の総数には年齢不詳を含む。

(2) 年齢区分別人口と諸指標

令和元年10月1日現在

市町	年齢区分別人口			年少 人口指数	高齢者 人口指数	従属 人口指数	高齢化 指数
	0~14歳	15~64歳	65歳以上				
管内	3,665	16,728	14,315	21.9	85.6	107.5	390.6
熊野市	1,564	7,359	7,117	21.3	96.7	118.0	455.1
御浜町	875	3,950	3,297	22.2	83.5	105.6	376.8
紀宝町	1,226	5,419	3,901	22.6	72.0	94.6	318.2
三重県	217,362	1,020,103	522,588	21.3	51.2	72.5	240.4

推計人口(月別人口調査結果:三重県)

(注)

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少(15歳未満)人口}}{\text{生産年齢(15~64歳)人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少+高齢者人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{高齢者人口指数} = \frac{\text{高齢者(65歳以上)人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{高齢化指数} = \frac{\text{高齢者人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(3) 管内年次別人口動態件数および率の推移

平成 30 年確定数

年	人口	老年化 指数	出生数		死亡数		乳児 死亡数		死産数		婚姻件数		離婚件数	
			率	率	率	率	率	率	率	率				
19	43,303	244.4	289	6.6	580	13.3	1	3.5	11	36.1	177	4.1	87	2.0
20	42,563	256.9	296	7.0	603	14.2	0	0	0	0	171	4.0	74	1.7
21	41,877	263.4	259	6.2	586	14.0	1	3.9	11	42.5	172	4.1	86	2.1
22	41,273	274.4	272	6.6	584	14.1	0	0	5	18.1	148	3.6	86	2.1
23	40,394	279.3	255	6.2	625	15.3	1	3.9	6	23.0	149	3.6	70	1.7
24	39,921	284.7	239	6.0	628	15.7	2	8.4	7	28.5	139	3.5	78	2.0
25	39,231	296.6	240	6.1	641	16.3	0	0	2	8.3	158	4.0	48	1.2
26	38,138	327.1	220	5.8	661	17.3	0	0	4	17.9	128	3.4	49	1.2
27	37,270	342.9	233	6.3	627	16.8	2	8.6	4	16.9	157	4.2	57	1.5
28	36,730	355.1	217	6.3	591	16.1	0	0	2	8.5	136	3.7	54	1.5
29	36,096	368.3	202	5.6	670	18.6	1	5.0	7	34.7	108	3.0	58	1.6
30	35,472	378.0	186	5.2	585	16.5	0	0	4	21.1	93	2.6	45	1.3

(注) 出生、死亡、婚姻、離婚率は人口 1,000 人対、乳児死亡率は出生 1,000 人対、
死産率は出生 1,000 人対

(4) 人口動態件数及び率

平成 30 年確定数

市町	出生				低体重児 (再掲)	死亡			
	総数	男	女	率		総数	男	女	率
管内	186	92	94	5.2	18	585	286	299	16.5
熊野市	71	35	36	4.3	7	297	148	149	18.0
御浜町	46	22	24	5.5	4	123	52	71	14.8
紀宝町	69	35	34	6.4	7	165	86	79	15.4
三重県	12,582	6,404	6,178	7.2	1,133	20,900	10,555	10,345	11.9

(注) 出生、死亡率は人口 1,000 人対

平成 30 年確定数

市町	乳児死亡			新生児死亡（再掲）			死産数	周産期死亡（再掲）		
	総数	男	女	総数	男	女		総数	満22週 以後の 死産	早期 新生児 死亡
管内	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
熊野市	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
御浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀宝町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
三重県	21	11	10	9	4	5	251	36	30	6

平成 30 年確定数

市町	婚姻件数		離婚件数		自然増加数		合計特殊出生率
		率		率		率	
管内	93	2.6	45	1.3	-399	-11.2	1.67
熊野市	44	2.7	20	1.2	-226	-13.7	1.47
御浜町	14	1.7	11	1.3	-77	-9.3	1.94
紀宝町	35	3.3	14	1.3	-96	-9.0	1.77
三重県	7,446	4.3	2,929	1.7	-8,318	-4.8	1.54

（注）婚姻、離婚率は人口 1,000 人対

自然増加数＝年間出生数－年間死亡数

$$\text{自然増加率} = \frac{\text{自然増加数}}{\text{平成 30 年 10 月 1 日現在の人口}} \times 1,000$$

合計特殊出生率は女子の年齢別出生率の合計で 1 人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生む平均こども数をあらわす。

(5) 出生総数・性別・体重

平成 30 年確定数

総数	管内		熊野市		御浜町		紀宝町	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	186		71		46		69	
総数（性別）	107	95	51	48	20	19	36	28
1,000g未満	0	1	0	1	0	0	0	0
1,000g～1,499g	0	1	0	1	0	0	0	0
1,500g～1,999g	0	4	0	1	0	1	0	2
2,000g～2,499g	6	6	2	2	1	2	3	2
2,500g～2,999g	27	38	9	14	8	12	10	12
3,000g～3,499g	48	35	18	14	11	9	19	12
3,500g～3,999g	10	8	6	3	2	0	2	5
4,000g～4,499g	1	1	0	0	0	0	1	1
4,500g～4,999g	0	0	0	0	0	0	0	0
5,000g以上	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 母の年齢別出生数

平成 30 年確定数（三重県）

	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
総数	12,582	5,673	4,743	1,687	357	122
15歳未満	0	0	0	0	0	0
15～19歳	134	119	14	1	0	0
20～24歳	1,157	745	337	61	13	1
25～29歳	3,537	2,051	1,132	298	46	10
30～34歳	4,487	1,671	1,926	705	144	41
35～39歳	2,678	868	1,115	515	26	54
40歳以上	589	219	219	107	28	16
不詳	0	0	0	0	0	0

(7) 主要死因別死亡者数及び死亡率

平成 30 年確定数

	管内		熊野市		御浜町		紀宝町	
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率
総数	585	1684.18	297	1849.3	123	1514.0	165	1561.1
悪性新生物	143	403.1	71	442.1	27	332.3	45	425.8
心疾患（高血圧性を除く）	94	265.0	49	305.1	17	209.2	28	264.9
脳血管疾患	43	121.2	21	130.8	6	73.9	16	151.4
肺炎	33	93.0	17	105.9	8	98.5	8	75.7
慢性閉塞性肺疾患	8	22.6	5	31.1	2	24.6	1	9.46
肝疾患	3	8.64	1	6.23	0	0	2	18.9
腎不全	11	31.0	6	37.4	4	49.2	1	9.46
大動脈瘤及び解離	6	16.9	1	6.23	2	24.6	3	28.4
高血圧性疾患及び心腎疾患	3	8.64	1	6.23	0	0	2	18.9
糖尿病	6	16.9	3	18.7	2	24.6	1	9.46
老衰	85	239.6	46	286.4	24	295.4	15	141.9
アルツハイマー病	8	22.6	4	24.9	2	24.6	2	18.9
精神及び行動の傷害	12	34.5	7	43.6	2	24.6	3	28.4
不慮の事故	22	62.0	7	43.6	7	86.2	8	75.7
自殺	4	11.3	1	6.23	2	24.6	1	9.46
その他の外因	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 死亡率は人口 100,000 人対

$$\text{死亡率} = \frac{\text{死因別死亡者数}}{\text{平成 30 年 10 月 1 日現在の人口}} \times 100,000$$

(8) 悪性新生物部位別死亡者数

平成 30 年確定数

	管内		熊野市		御浜町		紀宝町	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数	82	61	47	24	15	12	20	25
口 唇 、 口 腔 及 び 咽 頭	3	0	2	0	0	0	1	0
食 道	1	1	1	0	0	1	0	0
胃	12	8	7	4	3	1	2	3
結 腸	8	3	4	0	2	2	2	1
直腸 S 状結腸移行部及び直腸	8	4	6	1	1	2	1	1
肝 及 び 肝 内 胆 管	5	5	4	1	0	0	1	4
胆 の う 及 び そ の 他 の 胆 道	3	3	0	3	2	0	1	0
脾	6	8	6	4	0	0	0	4
気 管 ・ 気 管 支 及 び 肺	14	5	6	0	4	3	4	2
皮 膚	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 房	0	5	0	3	0	0	0	2
子 宮	0	2	0	1	0	0	0	1
卵 巢	0	3	0	2	0	0	0	1
前 立 腺	5	0	4	0	0	0	1	0
膀 胱	3	0	1	0	0	0	2	0
中 枢 神 経 系	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 性 リ ン パ 腫	3	2	1	0	2	1	0	1
白 血 病	2	3	1	0	0	1	1	2
その他のリンパ組織、造血組織 及 び 関 連 組 織	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	9	9	4	5	1	1	4	3

第2編 みえ県民カビジョン

みえ県民カビジョン・第二次行動計画における事業実績

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

施策112 防災・減災対策を進める体制づくり

基本事業11204 災害医療体制の整備

(主担当：総務企画課、衛生指導課)

取組内容

- 1 関係機関と連携し、災害時の医療提供体制の確保を図ります。
- 2 災害用医薬品の備蓄・供給体制を確保します。

1 災害医療体制強化推進事業

(1) 令和元年度紀南地域災害医療対策会議の開催

第1回

開催日：令和元年8月22日(木)

場 所：県熊野庁舎 5階 501会議室

内 容：委員の変更について

災害時における連絡手段について

第2回

開催日：令和元年12月26日(木)

場 所：県熊野庁舎 1階 101会議室

内 容：災害時における連絡手段について

災害時医療救護関係情報共有体制の検討について

(2) 災害拠点病院の指定

指定状況：平成29年8月22日に紀南病院が「災害拠点病院」に指定。

(3) 災害医療コーディネーターの委嘱

委嘱状況：紀南病院1名、紀南医師会3名に委嘱。(平成31年4月1日現在)

(4) 広域災害救急医療情報システム(E M I S)への参加

参加状況：管内病院のE M I S参加率は100%。(紀南病院、熊野病院)

2 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業

(1) 医薬品等の備蓄事業

紀南地域において発災時に必要な医薬品を速やかに供給できるよう、熊野保健所に外科系医薬品及び衛生材料を備蓄している。

医薬品 27 薬効 42 品目

衛生材料 13 分類 42 品目

内科系救急医薬品は災害拠点薬局を指定し、備蓄している。

熊野地域災害拠点薬局：あたわ調剤薬局

医薬品 27 薬効 38 品目

(2) 県域を越えた協力体制の整備

「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定に基づく医薬品等供給実施細目」

激甚災害により主要幹線道路が寸断されると医薬品等の供給が迅速に進まなくなるおそれがあるため、近隣県と協定を結び災害時に備えている。

施策121 地域医療提供体制の確保

基本事業12102 医療分野の人材確保

(主担当：総務企画課、健康増進課)

取組内容

- 1 県民の要望に応えられる資質の高い医療分野の職員を養成することを目的に、今日的課題に対応するため、地域特性に基づいた実務者研修会を実施します。
- 2 看護、栄養業務に従事しようとする学生に対して保健所等実習指導を実施します。
- 3 医療機関の看護職員の不足解消を図るため、1日看護体験を実施します。

1 保健師活動状況

管内保健師状況

令和元年4月1日現在

	熊野市	御浜町	紀宝町	保健所	管内合計
人員	9	6	6	4	25

管内統括保健師会議 4回

開催日	内容	参加者数
令和元年6月26日	保健師人材育成について	5名
令和元年10月28日	災害時保健活動について	4名
令和2年1月20日	災害時保健活動について、キャリアラダーについて	4名
令和2年3月23日	保健師人材育成について、次年度計画について	7名

管内保健師連絡会 2回

開催日	内容	参加者数
令和元年8月7日	講義及び演習：キャリアラダー・キャリアパスについて 講師：三重県看護協会 常任理事 堀内 咲子 氏	17名
令和元年12月2日	講義及び演習：災害時の備えについて 講師：三重県防災対策部 防災技術指導員 宮田 正人 氏	19名

2 保健所実習指導

管理栄養士学生実習

学校名	学生数	グループ数	実習日数
鈴鹿医療科学大学	5人	1	5日

3 1日看護体験

開催日：令和元年8月1日（木）、2日（金）

場 所：紀南病院

参加者：高校生18名

4 紀南病院研修医研修

実施日：令和元年7月30日（火）

場 所：熊野保健所

人 数：1名

基本事業12103 救急医療等の確保 (主担当：総務企画課)

取組内容

地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療対策整備を行います。

1 地域救急医療対策事業

熊野市及び南牟婁郡における休日または夜間の救急病患者を含む救急医療体制や、災害時における救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議をしました。

(1) 令和元年度紀南地域救急医療対策協議会

開催日：令和元年7月4日(木)
場所：県熊野庁舎 5階 大会議室
内容：委員の変更について
協議会役員を選任について
平成30年度協議会活動報告について
平成30年度協議会決算報告について
令和元年度協議会活動計画について
令和元年度協議会予算案について

(2) 令和元年度紀南地域救急医療対策協議会実務委員会

開催回数：6回
内容：「救急の日」イベント、災害時医療救護研修会についての検討 等

(3) 「救急の日」イベント(講演会)の開催

開催日：令和元年9月2日(月)
場所：紀宝町生涯学習センター「まなびの郷」
テーマ：君たちに何ができるのか！
内容：①講演「熊野でつながる救急救命24時～命はこうして救われる～」
講師 紀南病院医師 森本 真之助 氏
医師 岩下 義明 氏
熊野市消防本部 北仲 徹 氏、戸階 良 氏
②松村香織(元 SKE48)トークショー ～東日本大震災復興支援の経験から
登壇者 SKE48元メンバー、岩手県山田町ふるさと大使
松村 香織 氏

参加者：190名

(4) ミニタウンミーティングの開催

内容：住民と地域の医療従事者との医療に関する意見交換
場所：9会場(熊野市内4会場、御浜町内3会場、紀宝町内2会場)
参加者：107名(9会場合計)

基本事業12104 医療安全体制の確保

(主担当：総務企画課)

取組内容

医療環境の整備をはかるため、情報提供、相談体制の充実を図ります。

1 医務

医療関係施設は、令和2年3月31日現在で病院2（一般病院1、精神病院1）、一般診療所39、歯科診療所19となっています。

(1) 医療関係施設数

令和2年3月31日現在

		熊野市	御浜町	紀宝町	計
病院	一般	0	1	0	1
	精神	1	0	0	1
	計	1	1	0	2
一般診療所		27	6	6	39
歯科診療所		10	3	6	19
助産所		0	0	0	0
歯科技工所		5	2	4	11
施術所		30	12	9	51

(2) 病床数（病院・診療所）

令和2年3月31日現在

		病床数
病院	一般病床	200
	療養病床	40
	結核病床	0
	感染症病床	4
	精神病床	320
	計	564
一般診療所		7

(3) 医療関係従事者数

平成30年12月31日現在

種別	従事者数	種別	従事者数
医師	54	看護師	327
歯科医師	22	准看護師	179
薬剤師	42	歯科衛生士	21
保健師	28	歯科技工士	15
助産師	2	合計	690

(注) 医師・歯科医師・薬剤師は、医師・歯科医師・薬剤師調査（隔年調査）による。
保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士は業務従事者届（隔年調査）による。

(4) 管内病院の概要

令和2年3月31日現在

名称	所在地	診療科目	病床数
紀南病院	御浜町阿田和 4750 TEL:05979-2-1333	内科、小児科、脳神経内科、 外科、整形外科、脳神経外科、 産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 歯科口腔外科、皮膚科、 放射線科、泌尿器科、 消化器内科、消化器外科、 リハビリテーション科	一般 200 療養 40 感染 4
医療法人紀南会 熊野病院	熊野市久生屋町 868 TEL:0597-89-2711	内科、精神科	精神 320

施策124 心と身体への健康対策の推進

基本事業12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者との検討会や研修を実施し支援します。
- 2 「ヘルシーピープルみえ・21」に基づき、生活習慣の適正化に向けて学校、企業、NPO等と協働で環境づくりを推進していきます。

1 健康づくり総合推進事業

(1) たばこ対策

一般住民を対象として、県熊野庁舎1階においてたばこに関する啓発活動を行いました。

啓発活動：令和元年5月31日(金)～6月6日(木)

県熊野庁舎1階県民ホールにてポスターの掲示、チラシと啓発物品の配布

(2) くまの地域・職域連携推進懇話会

熊野地域固有の健康問題の特定と、地域特性を活かした健康課題の解決を図るため、地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業を推進するため、懇話会を開催しました。

開催日	場所	出席者	内容
令和2年1月30日	県熊野庁舎	9名	・地域・職域連携推進ガイドラインについて ・三重とこわか健康経営カンパニー(ホワイトみえ)認定制度について ・健康増進法を一部改正する法律における受動喫煙対策について ・健康づくり及びメンタルヘルス対策に関する取組について

(3) 健康づくり体制の整備

紀南健康長寿推進協議会への参加

協議会	1回
幹事会	3回
担当者会議	9回
作業部会	2回
フェスティバル	1回

2 健康食育推進事業

(1) 地域栄養管理ネットワーク研究会との協働

各職域の管理栄養士・栄養士の交流及び連携を図るとともに、委員会等を通して栄養課題に向けた取り組みの検討や時事に対応した情報交換を行いました。

ア 地域栄養管理ネットワーク研究会委員会の開催

開催日	場所	出席者	内容
開催なし			

イ 地域栄養管理ネットワーク研究会研修会の開催

開催日	場所	参加者	内容
開催なし			

(2) 野菜フル 350 推進のための健康教育及び啓発

ア 健康教育（地区組織育成支援に再掲）

開催日	場所	対象・人数	内容
令和元年 6月28日	熊野市保健福祉センター	熊野食生活改善推進連絡協議会 会員 16名	講義 「骨の健康を保とう～笑顔で毎日を送るために～」
令和元年11月26日	県熊野庁舎	給食施設関係者、市町職員等 23名	講演 「野菜と果物で心と体も元気に！その魅力と楽しみ方」

イ 啓発活動 5回/年 延べ730名

(3) 健康づくり応援の店

健康づくり応援の店登録店に対し、健康づくりに関する情報を提供するとともに啓発物品の配布を依頼し協働で県民に健康づくり情報の発信を行いました。

登録店舗数 (令和2年3月31日現在)	延べ登録店舗数 (令和2年3月31日現在)
13店舗	26店舗

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、特定給食施設等の巡回指導等を実施しました。

ア 巡回指導

令和元年度

区分	管内給食施設数	指導数
知事指定施設	1	0
知事指定以外の特定給食施設	15	2
一般給食施設	30	3
計	46	5

イ 給食施設従事者研修会の開催

開催日	場所	参加者
令和元年11月26日	県熊野庁舎	給食施設従事者等 23名
<内容> 講演「野菜と果物で心と体も元気に！その魅力と楽しみ方♪」 講師 野菜ソムリエプロ T Little Kitchen		

(2) 人材育成・支援事業

ア 市町行政栄養士支援

実施回数	場所	対象
連絡会議 2回	尾鷲保健所	市町保健分野管理栄養士 5名 (うち熊野保健所管内3名)
<主な検討内容> (当所の担当者が産休・育休となり、尾鷲保健所と合同開催) ・市町、保健所栄養関係事業の情報共有		

イ 地区組織育成支援（熊野地区食生活改善推進連絡協議会）

総会での講話や管理栄養士臨地実習の実践研修として、リーダー研修会を協働で開催しました。

開催日	場所	人数	内容
令和元年 6月28日	熊野市保健福祉センター	16名	講義「骨の健康を保とう～笑顔で毎日を送るために～」 実習「カルシウム強化メニュー」

ウ 地域活動栄養士支援

地域栄養管理ネットワーク研究会を活用し、随時情報提供を行いました。

(3) 健康増進法虚偽誇大広告および食品表示法（保健事項）の相談・指導

ア 個別相談・指導件数 令和元年度

虚偽誇大	食品表示（保健事項）
0	57

イ 集団指導

開催日	場所	参加者
令和元年 7月23日 令和元年 9月25日 令和元年11月28日 令和 2年 1月28日	県熊野庁舎	食品関係事業者等 延べ 63 名
<内容> 食品表示法（保健事項）の表示について		

基本事業12403 こころの健康づくりの推進

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発を行います。
- 2 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1 自殺防止対策事業

(1) ネットワーク事業

ア 紀南地域自殺対策連絡会

第1回

開催日：令和元年10月7日(月)

場 所：県熊野庁舎 1階 101会議室

参加者：病院、障がい者総合相談センター、警察署、市町、こころの健康センター、ひきこもり家族会、児童相談所、保健所 計17名

内 容：紀南地域の自殺の現状、各市町の自殺対策行動計画・今年度の取組、自殺リスクを抱える方の相談窓口について等

イ 紀南地域自殺対策連絡会コア会議

第1回

開催日：令和元年6月26日(水)

場 所：熊野保健所 2階 会議室

参加者：市町、保健所 計5名

内 容：市町の自殺対策計画・今年度の取組について

第1階紀南地域自殺対策連絡会の進め方について

第2回

開催日：令和2年1月20日(月)

場 所：熊野保健所 2階 会議室

参加者：市町、保健所 計5名

内 容：今年度の自殺対策の進捗状況について

紀南地域自殺対策連絡会の今後のあり方について

ウ くまの地域・職域連携推進懇話会

開催日：令和2年1月30日(木) 10時00分～12時00分

場 所：県熊野庁舎 1階 101会議室

参加者：事業所、商工会議所、商工会、市町等 計13名

内 容：働く世代の健康づくり及びメンタルヘルスの取組について(情報交換)

(2) 人材養成事業

ア メンタルヘルス研修会

内 容：講義「精神障がいの理解、メンタルヘルスセルフケア」

講師 熊野保健所職員

① 日 時：令和元年11月29日（金）

場 所：熊野警察署

対 象：警察署職員 15名

② 日 時：令和2年2月18日（火）

場 所：紀宝町生涯学習センター

対 象：民生委員 33名

イ 思春期教育

内 容：講義「デートDVを知る」

講師：熊野保健所職員

① 日 時：令和元年6月19日（水）

場 所：木本高等学校

対 象：1年生 194名

② 日 時：令和元年12月17日（火）

場 所：紀南高等学校

対 象：1年生 54名

(3) 自殺予防啓発事業

ア 自殺予防週間（9月10日～16日）における啓発

県熊野庁舎県民ホールにおいてのぼり旗、啓発用パンフレット・グッズの設置

実施期間：令和元年9月9日（月）～17日（火）

イ 自殺対策強化月間（3月1日～31日）における啓発

① JR熊野市駅ロータリーにおいて啓発用グッズの配布

実施日時：令和2年3月4日（火）8:10～8:40に予定していたが、中止

② 県熊野庁舎県民ホールにおいてのぼり旗、啓発用パンフレット・グッズの設置

実施期間：令和2年3月2日（月）～31日（火）

③ 事業所において啓発グッズの設置及び配布

設置及び配布協力事業所：熊野精工株式会社、野地木材工業株式会社

ウ その他啓発

① 高校生向けちらし「精神疾患の理解と対応」の作成と配付

紀南高等学校養護教諭と協働でちらしを作成し、保健だよりと合わせ3年生に配付。1、2年生にも周知。

実施時期：令和2年2月～3月

基本事業12404 難病対策の推進
(主担当：健康増進課、衛生指導課)

取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者及びその家族のQOL（生活の質）の向上を図ります。
- 3 骨髄移植や骨髄バンク制度の普及啓発とドナー（骨髄提供希望者）登録の推進を図ります。

1 原子爆弾被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対するがん検診を実施しました。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給しました。

(1) 定期健康診断実施状況

令和2年3月31日現在

	手帳交付数	受診者数	
		第1回	第2回
熊野市	2	1	2
御浜町	1	0	0
紀宝町	1	0	0
計	4	1	2

(2) がん検診状況

令和2年3月31日現在

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性 骨髄腫
受診者数	0	0	0	0	0	0

(3) 各種手当受給状況

令和2年3月31日現在

	医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (定額)	家族介護 手当	葬祭料
熊野市	0	1	0	0	1
御浜町	0	1	0	0	0
紀宝町	0	1	0	0	0
計	0	3	0	0	0

2 指定難病治療研究事業

原因が明らかでなく治療方法が確立していない希少な疾病で、長期の療養を必要とする難病患者を支援するための医療助成制度です。

令和2年7月からは333疾患に拡大され、治療に係る医療費の公費負担を行います。

(1) 特定医療費（指定難病）受給状況

令和2年3月31日現在

	病名	人数			
		熊野市	御浜町	紀宝町	計
2	筋萎縮性側索硬化症	1	0	4	5
5	進行性核上性麻痺	4	0	2	6
6	パーキンソン病	25	18	19	62
7	大脳皮質基底核変性症	1	0	0	1
11	重症筋無力症	3	3	0	6
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	3	1	1	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	2	0	0	2
17	多系統萎縮症	2	1	2	5
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	3	2	1	6
19	ライソゾーム病	0	2	0	2
21	ミトコンドリア病	1	0	0	1
22	もやもや病	1	0	0	1
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	1	2
28	全身性アミロイドーシス	2	0	0	2
34	神経線維腫症	0	2	0	2
35	天疱瘡	3	0	0	3
36	表皮水疱症	1	0	0	1
40	高安動脈炎	1	0	0	1
41	巨細胞性動脈炎	0	0	1	1
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	2
43	顕微鏡的多発血管炎	1	1	1	3
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	0	1
46	悪性関節リウマチ	0	0	2	2
47	バージャー病	1	0	0	1
49	全身性エリテマトーデス	7	2	3	12
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	5	1	2	8
51	全身性強皮症	6	1	4	11
52	混合性結合組織病	1	1	2	4
53	シェーグレン症候群	4	0	2	6
54	成人スチル病	0	1	0	1
55	再発性多発軟骨炎	1	0	0	1
56	ベーチェット病	3	3	3	9

57	特発性拡張型心筋症	3	2	3	8
58	肥大型心筋症	1	0	0	1
60	再生不良性貧血	0	1	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	3	2	1	6
66	IgA 腎症	0	2	1	3
67	多発性嚢胞腎	0	0	1	1
68	黄色靭帯骨化症	1	0	2	3
69	後縦靭帯骨化症	8	6	8	22
71	特発性大腿骨頭壊死症	5	1	0	6
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	1	0	0	1
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1	0	0	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	2
78	下垂体前葉機能低下症	1	0	2	3
84	サルコイドーシス	2	1	1	4
85	特発性間質性肺炎	2	2	3	7
86	肺動脈性肺高血圧症	2	0	0	2
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	0	0	2
90	網膜色素変性症	4	1	1	6
93	原発性胆汁性胆管炎	3	3	2	8
95	自己免疫性肝炎	0	0	2	2
96	クローン病	1	1	3	5
97	潰瘍性大腸炎	16	4	11	31
111	先天性ミオパチー	0	1	0	1
113	筋ジストロフィー	1	0	0	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	0	0	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	2	0	0	2
222	一次性ネフローゼ症候群	0	0	1	1
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	0	0	1
260	シトステロール血症	0	1	0	1
271	強直性脊椎炎	2	1	0	3
300	IgG4 関連疾患	1	1	0	2
306	好酸球性副鼻腔炎	0	2	1	3
331	特発性多中心性キャスルマン病	0	1	1	2
	合計	151	72	95	318

※熊野保健所管内において受給のない疾患は掲載せず。

(2) 特定疾患医療受給状況 令和2年3月31日現在

病名	人数
スモン	1

(3) 先天性血液凝固因子障害等医療受給状況
3名(令和2年3月31日現在)

3 難病在宅ケア事業

(1) 事業の目的

難病患者及びその家族が地域で安心して生活が送れるように、保健・医療・福祉が一体となった在宅ケアシステムづくりを目指します。

(2) 対象

熊野保健所管内の難病患者とその家族及び関係者

(3) 事業実施内容

ア 医療相談事業

難病患者及び家族が専門的な相談ができる場として、難病相談会を開催しました。

開催日：令和元年11月8日(金)

場所：熊野保健所

参加者：患者の家族1名

スタッフ：三重大学神経内科医師1名、保健師1名

イ 訪問相談事業

神経難病重症患者を中心に訪問しました。

訪問実人員3名、延人員13名

ウ 電話・メール相談・ケース相談

患者の状態に応じ、適宜、相談、会議を行った。

電話相談 延人員 13名

メール相談 延人員 44名

ケース相談 延人員 5名

4 肝炎治療特別促進事業

C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療に係る、医療費の助成を行いました。

令和2年3月31日現在

申請件数	15	承認件数	15
------	----	------	----

5 骨髄バンク

(1) 骨髄バンクドナー登録受付状況

定期的な登録窓口を、毎月第四火曜日に開設しています。また、より登録しやすいよう、献血推進ページとあわせて骨髄バンク臨時ドナー登録受付窓口を開設し、登録受付を行いました。

令和元年度登録者数 25 名

(2) 普及啓発事業

愛の血液助け合い運動等献血推進ページの会場において、骨髄移植や骨髄バンクに関する啓発ポスターの掲示や、来場者に対して啓発資材を配布して理解を求めました。

実施日	名称	実施場所
令和元年 8月20日	愛の血液助け合い運動	県熊野庁舎
令和2年 3月25日	スプリング献血キャンペーン	熊野市役所

施策131 障がい者の自立と共生

基本事業13105 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、適切な通院医療の継続を目的に障害者自立支援医療受給者証や精神保健福祉手帳の交付を行います。
- 2 休日・夜間における精神科救急に対応するため、精神科病院の輪番制による精神科救急医療体制を確保します。

1 精神保健医療対策

(1) 精神保健措置事業

ア 事業目的

医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自信を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷他害の行為を防ぎます。

イ 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況

令和元年度

区分	要診察		診察不要	小計
	第29条 該当	第29条 非該当		
法第22条申請	0	0	0	0
法第23条通報	1	0	0	1
法第24条通報	0	0	0	0
法第26条の2届出	0	0	0	0
計	1	0	0	1
管外での法第24条通報(参考)	0	0	0	0

ウ 取扱措置入院患者数

令和元年度

区分	男	女	計
法第29条措置 在院者数 (平成31年3月末現在)	0	0	0
法第29条措置 入院者数	0	1	1
法第29条措置 解除者数	0	1	1
法第29条措置 在院者数 (令和元年度3月末現在)	0	0	0

(2) 自立支援医療（精神通院医療）

ア 事業目的

精神疾患の治療のために指定医療機関に通院する人を対象に、その通院医療費の90%まで公費負担をします。

イ 自立支援医療受給者証（精神通院医療）の有効期間：1年間

ウ 自立支援医療受給者証（精神通院医療）の交付状況

令和2年3月31日現在

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
交付者数	268	96	121	485

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付

ア 事業目的

精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図ります。

イ 精神障害者保健福祉手帳の有効期間：2年間

ウ 市町別等級別精神障害者保健福祉手帳交付状況

令和2年3月31日現在

		熊野市	御浜町	紀宝町	計
障害等級	1	12	2	5	19
	2	118	35	37	192
	3	24	7	23	54
計		154	44	65	265

基本事業13106 障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 地域精神保健福祉活動を推進するため、市町及び関係機関に対し専門的立場から技術指導及び技術支援を行います。
- 2 精神障がい者の地域生活をサポートするため、関係機関のネットワークづくりを行います。
- 3 地域住民等に対し精神障がいの正しい知識を普及啓発します。

1 障がい者地域生活推進事業

(1) 精神保健福祉相談

目的：一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療に繋げると共に、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促します。

令和元年度

相談の区分	精神科医師の相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設状況	2回	随時	随時	随時
相談延件数	8件	50件	31件	304件

(2) 研修会

第1回

開催日：令和元年11月29日(金)

場所：熊野警察署 3階 大会議室

目的：精神障がい者とその支援について理解を深める

対象：警察官 15名

主催：熊野警察署

第2回

開催日：令和2年2月18日(火)

場所：紀宝町障害学習センターまなびの郷 2階 研修室

目的：精神障がい者とその支援について理解を深める

対象：御浜町民生児童委員 33名

主催：御浜町社会福祉協議会

(3) 啓発活動

市町広報での相談等のPR

(4) 紀南地域精神保健福祉連絡会の開催

開催日：令和元年10月7日(月) 13:30~14:30

場 所：熊野庁舎 1階 101会議室

目 的：地域の取組状況、精神緊急対応状況、退院後支援について共有し、意見交換を行うことで関係機関の連携強化、相談対応能力の向上を図る。

対 象：熊野警察署、紀宝警察署、熊野病院、紀南圏域障がい者総合相談支援センターあしすと、市町精神保健福祉担当課職員、家族会つぼみ、こころの健康センター 出席者 計17名

内 容：精神緊急対応について、退院後支援について、意見交換

(5) 自立支援協議会精神部会への参加

第1回

開催日：令和元年7月1日(月)

場 所：労働福祉会館 参加者：15名

内 容：参加者紹介、昨年度報告、本年度計画

第2回

開催日：令和元年11月12日(火)

場 所：熊野市役所 参加者：13名

内 容：地域移行、居場所づくり、啓発について

第3回

開催日：令和2年3月3日(水)

場 所：熊野市市民会館 参加者：12名

内 容：今年度の活動結果と反省、来年度の計画について

施策144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
 基本事業14401 薬物乱用防止対策の推進
 (主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 不正大麻とけし栽培の取り締まりを実施します。
- 2 薬物の乱用を防止するため、街頭における啓発活動等を実施します。
- 3 麻薬及び向精神薬の適正使用と適正な管理を指導します。

1 不正大麻・けし対策

ポスター等を利用して、不正大麻やけしに関する情報提供を行い、発見と除去に努めました。

除去実績 御浜町 けし(セティゲルム) 4553本除去

2 薬物乱用防止対策

(1) 薬物乱用防止啓発活動

令和元年度

実施日	内容	場所	対象数
令和元年 7月 3日	「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で 啓発資材配布	350名
令和元年11月 6日	麻薬・覚醒剤 乱用防止運動 街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で 啓発資材配布	300名

(2) 麻薬等取締業務

医療機関、麻薬小売業者等への立入検査を実施し、麻薬、向精神薬、覚せい剤原料等の適正使用と適正な管理を指導しました。

麻薬関係施設数と立入検査状況

令和元年度

市町 業態	市町				合計	立入検査 施設数
	熊野市	御浜町	紀宝町	合計		
麻薬診療施設	10	5	1	16	6	
麻薬小売業者	7	6	2	15	9	
合計	17	11	3	31	15	

基本事業14402 人と動物との共生環境づくり

(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 所有者不明犬の捕獲、犬・猫の引取り、負傷動物の保護を行います。
- 2 収容された犬・猫に生存の機会を設けるため適正に飼養できる飼い主に犬・猫を譲渡します。
- 3 犬による危害発生を防止するため、正しい接し方教室等を開催します。
- 4 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を開催します。
- 5 動物取扱業者の監視を実施し、施設及び動物の取扱いの適正化を図ります。
- 6 猫に関するトラブル軽減のため、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術等の支援を行います。

1 犬・猫の収容、返還、処分、譲渡に関すること

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬・猫の収容、処分等を行うとともに、飼育者に対し「正しい飼い方」についての指導・啓発を行いました。

犬による危害発生防止のため、飼い犬の係留を指導するとともに所有者不明犬の捕獲に努めました。

犬による咬傷事故届と咬傷犬検診及び再発防止対策について指導しました。

収容動物返還の際、狂犬病予防集合注射会場等で逸走防止対策及び所有者明示について指導、啓発しました。

(1) 犬・猫の収容、処分等の状況

区分 年度	犬						猫				
	捕獲	引取	負傷	返還	譲渡	殺処分	引取	負傷	返還	譲渡	殺処分
平成27年度	24	11	6	7	11	23	150	24	1	19	154
平成28年度	30	25	0	12	18	25	70	16	0	13	73
平成29年度	16	10	0	8	5	13	102	15	0	65	52
平成30年度	27	8	0	7	14	14	18	8	0	10	16
令和元年度	9	0	0	4	0	5	24	5	0	11	18

(2) 犬による咬傷事故届出件数

令和元年度 1件

(3) 犬の所有者明示率

令和元年度 17.8% (県内平均 37.6%)

(4) 譲渡会の開催

開催なし

2 苦情・相談受付状況と普及啓発事業の実施状況

地域住民等からの動物に関する苦情・相談に対応しました。

猫に関するトラブル軽減のため、地域住民、市町、動物愛護推進センターと協働で飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施しました。

動物愛護精神の高揚と犬による危害防止のため、犬との接し方教室等を開催しました。

動物愛護について理解や関心を深めてもらうため、小・中学生を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集しました。

(1) 犬に関する苦情受付件数 令和元年度

総数	係留義務違反 [放し飼い]	迷惑・モラル等 [ふん・鳴き声等]	咬傷事故	野犬捕獲依頼	飼い犬引取り依頼	その他 [失踪紹介等]
70	2	2	3	24	7	32

(2) 猫に関する苦情受付件数 令和元年度

総数	迷惑・モラル等 [糞尿]	迷惑・モラル等 [その他]	野良猫捕獲・引取り	負傷猫等収容依頼	飼い猫引取り依頼	その他 [失踪紹介等]
170	22	5	38	7	6	92

(3) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術実施頭数 令和元年度

	オス	メス	合計
熊 野 市	19	19	38
御 浜 町	17	28	45
紀 宝 町	25	23	48

(4) 動物愛護に関する普及啓発事業の実施状況（令和元年度）

犬との正しい接し方教室 2回開催 63名受講
 その他啓発事業（講習会、啓発イベント等） 2回開催 2名参加

(5) 動物愛護の絵・ポスター募集点数

令和元年度 96点（小学生 94点、中学生 2点）

3 動物取扱業の登録及び特定動物の飼養許可

(1) 第一種動物取扱業

登録数と監視指導の状況 令和元年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計	監視数
展 示	1	1	1	3	3
販 売	0	1	2	3	2
保 管	2	2	1	5	4

動物取扱責任者研修 令和元年9月26日（木）開催 11名受講

(2) 第二種動物取扱業者 届出施設なし

(3) 特定動物飼養許可 許可施設なし

基本事業14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 医薬品・医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、薬局・医薬品販売業等の監視指導を実施するとともに、調剤過誤を防止するため、薬局の自主管理体制の促進をはかります。
- 2 毒物劇物販売施設等の監視指導を行い、安全な取扱いの促進と保管管理の徹底を図ります。
- 3 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り、県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

(1) 薬事関係施設数と調査監視状況

令和元年度

業種		市町				総数	調査監視 件数
		熊野市	御浜町	紀宝町			
薬局		7	7	2	16	9	
医薬品	店舗販売業	6	2	0	8	6	
	卸売販売業	1	0	0	1	1	
医療 機器	販売業	高度	6	7	2	15	9
		管理	87	28	28	143	18
	貸与業	高度	3	1	2	6	2
		管理	6	1	3	10	12
毒物 劇物	販売業	一般	3	0	0	3	1
		農業用品目	3	5	0	8	3
		特定品目	1	0	0	1	1
合計		123	51	37	211	62	

(2) 調剤過誤防止と薬局における自主管理の促進

薬局に対して、監視の際に調剤過誤防止策に焦点をあて調剤全般についての聞き取りを行うとともに、法令遵守の意識を向上させるため全薬局へ自主点検票を送付し、薬局における自主管理を促進しました。

2 献血推進

医療に要するすべての血液製剤を献血により確保できるよう、市町、血液センター等と協力し、献血思想の普及啓発に努めました。特に、輸血の安全性向上の観点から、400ml 献血への理解と協力を求めました。

(1) 管内献血状況

令和元年度

市町	区分	200ml	400ml	計	献血バス 配車数
		献血者数	献血者数	献血者数	
熊野市		0	229	229	5
御浜町		0	83	83	2
紀宝町		0	80	80	2
合計		0	329	329	9

(2) 献血キャンペーン

ア 愛の血液助け合い運動街頭ページェント

令和元年8月20日(火) 県熊野庁舎において実施 献血者数 45名
ヤングミドナサポーター、熊野ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

イ スプリング献血キャンペーン

令和2年3月25日(水) 熊野市役所において実施 献血者数 56名
新型コロナウイルス感染症防止対策のため、保健所職員のみで実施しました。

基本事業14404 生活衛生営業の衛生確保

(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 理容所、美容所、クリーニング所、旅館等の生活衛生関係事業者に対し衛生講習会を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
- 2 営業施設の監視指導を行っていきます。

1 生活衛生

(1) 生活衛生関係営業施設数及び届出状況

令和元年度

業種 \ 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	合計	新規	廃止
理容所	31	11	11	53	0	2
美容所	63	16	29	108	3	2
クリーニング所	11	1	7	19	0	1
公衆浴場	7	1	1	9	0	2
興行場	2	0	0	2	0	0
旅館業	61	7	6	74	6	2
合計	175	36	54	265	9	9

(2) 監視指導状況

令和元年度

業種 \ 区分	対象施設数	監視施設数	監視率
理容所	55	9	16.4%
美容所	107	13	12.1%
クリーニング所	17	3	17.6%
公衆浴場	11	5	45.5%
興行場	2	1	50.0%
旅館／届出住宅	73	22	30.1%
合計	265	53	20.0%

※洗濯を行っている施設のみ対象

※住宅宿泊事業届出施設
対象施設：3件、監視施設：3件
※対象施設数は、平成30年度末の施設数

(3) 衛生講習会実施状況（令和元年度）

消毒講習（美容所） 1回 受講者 16名

消毒講習（理容所） 1回 受講者 35名

レジオネラ講習（公衆浴場、旅館等） 1回 受講者 20名

施策145 食の安全・安心の確保

基本事業14501 食の安全・安心の確保

(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
- 2 講習会を開催し、食品衛生、食品表示等に関する正しい知識の普及啓発に努めます。

1 食品衛生

食品監視指導に関する基本方針に基づき、年間を通じて計画的な監視と食品の収去検査を実施しました。

食品取扱者及び消費者に対して衛生講習を行うなど、食品衛生思想の普及啓発に努めるとともに、営業者の自主衛生管理を推進し、食中毒の予防に努めました。

(1) 食品関係営業施設数 令和元年度

区分	業種	施設数	監視指導施設数
許可	飲食店営業	428	145
	菓子製造業	74	28
	乳処理業	0	0
	乳製品製造業	0	0
	魚介類販売業	113	28
	魚介類せり売り業	2	1
	魚肉ねり製品製造業	1	0
	食品の冷凍冷蔵業	0	0
	びん詰かん詰製造業	6	5
	喫茶店営業	40	13
	アイスクリーム類製造業	13	5
	乳類販売業	88	30
	食肉処理業	11	5
	食肉販売業	80	27
	食肉製品製造業	0	0
	みそ製造業	6	2
	しょうゆ製造業	1	0
	ソース類製造業	0	0
	酒類製造業	2	1
	豆腐製造業	2	0
	めん類製造業	0	0
	そうざい製造業	12	4
	清涼飲料水製造業	4	6
	氷雪製造業	0	0
氷雪販売業	3	0	
	小計	886	300
届出	集団給食施設	72	15
	食品製造業	137	22
	その他販売業	322	60
	小計	531	97
	合計	1,417	397

(2) ランク別監視状況

各業種毎に、過去の食中毒の発生頻度や、製造・販売される食品の広域性、営業の形態などを考慮して監視の重要度をランク分けし、Aランクには監視頻度を設定して立入検査を実施しました。

令和元年度

区分		監視実績
Aランク 1回以上/年	対象施設	20
	監視件数	40
	監視率	200%
Bランク	対象施設	61
	監視件数	91
	監視率	-
Cランク	対象施設	1,336
	監視件数	266
	監視率	-
計	対象施設	1,417
	監視件数	397

※対象施設は令和年度当初の施設数

(3) 食品収去検査結果

令和元年度

品目	検体 収去検体数	不良検体数	不良検体数内訳	
			理化学検査	細菌学検査
乳及びその加工品	1	0	0	0
肉・卵及びその加工品	3	0	0	0
魚介類及びその加工品	6	0	0	0
青果穀類及びその加工品	12	0	0	0
菓子類	19	0	0	0
冷凍食品	0	0	0	0
その他の食品	97	1	0	1
器具及び容器包装	0	0	0	0
おもちゃ	0	0	0	0
施設内設備拭き取り検査	0	0	0	0
合計	138	1	0	1

(4) 食品衛生月間等における啓発事業の実施

ア 街頭啓発（パンフレット等資材の配布）

実施日：令和元年 8月 7日（水）

場 所：イオン熊野店、道の駅ウミガメ公園

イ 専門家による講習会の開催

開催日：令和元年 11月 14日（木） 受講者数：61名

講 師：サラヤ株式会社 村田 薫月 氏

内 容：ノロウイルス食中毒及び感染症防止対策について

(5) 食品衛生講習会の開催状況

食品関係営業施設等からの依頼に応じた衛生講習会を開催しました。

また、食品表示法（平成 27 年 4 月 1 日施行）に基づく表示方法に関する事業者向け講習会を健康増進課と合同開催しました。

令和元年度	開催回数	受講者数
	32	565

(6) 食中毒の発生 令和元年度 0件

(7) 調理師試験合格者数

令和元年度

出願者	受験者	合格者	合格率
18	18	11	61.1%

施策146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
 基本事業14601 感染予防のための普及啓発の推進
 (主担当：健康増進課)

取組内容

地域や施設等における感染症を予防するために、県民に予防対策を啓発するとともに、感染症情報システムを活用した情報提供を行います。

1 結核・感染症発生動向調査事業

(1) 事業目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に関する情報をコンピューターオンラインシステムにより迅速に収集・解析し、県民・医療関係者等への還元を行う。

(2) 5類定点把握感染症報告医療機関数

- ① インフルエンザ定点 2 機関
- ② 小児科定点 1 機関
- ③ 眼科定点 1 機関
- ④ 基幹定点 1 機関
- ⑤ STD定点 1 機関

(3) 感染症発生届件数（結核除く） 平成31年1月1日～令和元年12月31日

分類	疾患名	発生件数
1 類	—	0 件
2 類	—	0 件
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1 件
4 類	レジオネラ症	2 件
5 類（全数）	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
	ジアルジア症	1 件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 件
5 類（定点）	インフルエンザ	222 件
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11 件
	感染性胃腸炎	103 件
	水痘	13 件
	手足口病	32 件
	伝染性紅斑	6 件
	突発性発しん	4 件
	ヘルパンギーナ	21 件
	流行性耳下腺炎	1 件
	流行性角結膜炎	2 件
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9 件
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1 件

(4) 病原体検査実施件数

- ① ジアルジア症熱疑い 1 件
- ② 日本紅斑熱疑い 1 件
- ③ 腸管出血性大腸菌感染症疑い 8 件
- ④ 新型コロナウイルス感染症疑い 9 件

基本事業14602 感染症危機管理体制の整備

(主担当：健康増進課)

取組内容

新型インフルエンザや中東呼吸器症候群（MERS）、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等の発生すると社会的影響の大きい感染症に備え、関係機関との訓練を行い、防疫体制の強化を図ります。

1 防疫対策事業

(1) 事業目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の発生を防止するとともに、まん延防止のために必要な措置を講じ、公衆衛生の向上を図ります。

(2) 入院勧告実施件数（結核除く）

	法第19条	法第20条
1類感染症	0件	0件
2類感染症	0件	0件

(3) 入院勧告を受けた患者に対する医療費の公費負担状況（結核除く）

	新規申請	継続申請	計
申請件数	0件	0件	0件
承認件数	0件	0件	0件

(4) 行政検査実施状況（結核除く）

		医療機関 依頼	家族及び 接触者	菌陰性化 確認	計
1類感染症		0件	0件	0件	0件
2類感染症		0件	0件	0件	0件
3類感染症	コレラ	0件	0件	0件	0件
	細菌性赤痢	0件	0件	0件	0件
	腸管出血性大腸菌感染症	5件	3件	0件	8件
	腸チフス	0件	0件	0件	0件
4類感染症		0件	0件	0件	0件
5類感染症 (感染性 胃腸炎)	ノロウイルス	2件	0件	0件	2件
	ロタウイルス	0件	0件	0件	0件
	サポウイルス	0件	0件	0件	0件
指定感染症（新型コロナウイルス）		9件	0件	0件	9件
計		16件	3件	0件	19件

(5) 検疫対応状況

検疫通報件数 0件

(6) 社会福祉施設、医療機関等における感染症等発生報告

発生報告日	終息報告日	所在地	感染症
令和 2年 1月18日	令和 2年 2月19日	御浜町	ノロウイルス
令和 2年 2月 8日	令和 2年 2月28日	御浜町	ノロウイルス

(7) 紀南地域感染症対策協議会

開催日時：令和2年2月5日（木）18時30分～19時30分

開催場所：県熊野庁舎 5階 501会議室

議 題：新型コロナウイルス感染症について

参加機関：紀南医師会、南紀歯科医師会、紀南薬剤師会、
紀南病院組合立紀南病院、熊野市、御浜町、紀宝町、熊野市消防本部、
熊野警察署、紀宝警察署、熊野保健所

(8) 新型インフルエンザ・エボラ出血熱等対策訓練

開催日時：①令和2年1月20日（月）15時00分～16時00分

②令和2年1月21日（火）13時00分～15時30分

開催場所：①熊野保健所

②尾鷲総合病院、県尾鷲庁舎

訓練内容：①保健所職員が、個人防護具の着脱等感染防止対策を踏まえ、感染拡大に備えた体制を整える。

②・医療機関において、帰国者・接触者外来に感染症患者を受入れる。

・診察の結果、エボラ出血熱を疑い保健所に連絡する。

・保健所の疫学調査により、第一種感染症指定医療機関への患者搬送を決定し協定書に基づき消防へ救急搬送を依頼するとともに警察へ搬送車の先導を依頼する。

・患者をアイソレータに収容し、警察車両先導のもと救急車両にて感染症指定医療機関に搬送する。

参加機関：①熊野保健所

②尾鷲総合病院、紀北消防組合、尾鷲警察署、尾鷲保健所、
熊野保健所

基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見、早期治療のため、接触者健診及び結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策

(1) エイズ相談及びHIV抗体検査等実施状況 令和元年度

	男	女	計
相談件数	16	3	19
検査件数	4	2	6

(2) エイズ地域特別対策事業（エイズ予防啓発）

実施日	参加人数	実施対象	内容
令和元年 6月19日 12月17日	194名 54名	木本高校1年生 紀南高校1年生	} エイズ・性感染症について 講師：熊野保健所 保健師
11月25日 ～ 12月9日	400名	一般住民	
			JR熊野市駅にてエイズデー街頭啓発実施 県熊野庁舎での啓発

(3) 特定感染症検査

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、ウィルス肝炎検査を推進することで、これらの感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

令和元年度

		男	女	計
梅毒	相談件数	12	3	15
	検査件数	4	2	6
B型肝炎	相談件数	14	3	17
	検査件数	5	2	7
C型肝炎	相談件数	14	3	17
	検査件数	5	2	7

2 結核対策事業

当管内の結核罹患率は県内と比較して特に高齢者で高く、喀痰塗抹陽性等、重症化して発見されるケースも多く見られます。そこで、引き続き高齢者に重点を置いた啓発活動を強化し、患者の早期発見、早期治療に繋げることにより感染防止を図ります。

(1) 結核患者登録状況

ア 新登録患者数（活動性分類・性・年令階級別） 平成31年1月1日～令和元年12月31日

		活動性結核								肺外結核 活動性	(別掲) 潜在性結核 感染症	
		総数	肺結核活動性						その他の 結核菌陽性			菌陰性・ その他
			総数	喀痰塗抹陽性			再治療					
				総数	初回治療	再治療						
総数	総数	3	3	1	1	0	1	1	0	0		
	男	2	2	1	1	0	0	1	0	0		
	女	1	1	0	0	0	1	0	0	0		
0～4 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5～9 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10～14 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
15～19 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20～29 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30～39 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
40～49 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
50～59 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
60～69 歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
70歳 以上	総数	3	3	1	1	0	0	1	0	0		
	男	2	2	1	1	0	0	1	0	0		
	女	1	1	0	0	0	1	0	0	0		
年令 不祥	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

イ 市町別結核新登録患者の状況 平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日（単位：人）

	活動性結核								(別掲) 潜在性 結核 感染症
	総数	肺結核活動性							
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他	肺外結核 活動性	
			総数	初回治療	再治療				
総数	3	3	1	1	0	1	1	0	0
熊野市	2	2	1	1	0	1	0	0	0
御浜町	1	1	0	0	0	0	1	0	0
紀宝町	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 過去 5 年間に於ける市町別結核新登録患者罹患率（人口 10 万人対）

	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年	
	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率
総数	3	8.0	9	24.5	11	30.5	3	8.5	2	9
熊野市	1	5.8	6	35.2	6	35.8	2	12.2	2	12
御浜町	2	22.9	2	23.1	3	35.6	0	0	1	12
紀宝町	0	0	1	9.0	2	18.4	1	9.3	0	0

エ 市町別結核登録患者数 令和元年 12 月 31 日現在

	活動性結核										(別掲) 潜在性 結核 感染症		
	総数	肺結核活動性							肺外結核 活動性	不活動 性結核			活動性 不明
		総数	喀痰塗抹陽性			登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他						
			総数	初回 治療	再治療								
総数	12	1	1	0	0	0	1	0	0	11	0	0	1
熊野市	6	1	1	0	0	0	1	0	0	5	0	0	1
御浜町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
紀宝町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0

オ 結核登録患者数（活動性分類・治療状況別） 令和元年 12 月 31 日現在

	活動性結核										(別掲) 潜在性 結核 感染症		
	総数	肺結核活動性							肺外結核 活動性	不活動 性結核			活動性 不明
		総数	喀痰塗抹陽性			登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他						
			総数	初回 治療	再治療								
総数	12	1	1	0	0	0	1	0	0	11	0	0	1
入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来(他疾患入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来(通院)	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
治療なし	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 管理及び家族・接触者健康診断実施状況 令和元年度（単位：人）

	受診者数 (実人員)	ツバルクリン 反応検査	直接撮影	QFT 検査	喀痰検査	発病のおそ れがある者	結核患者
管理検診	3	0	3	0	0	0	0
家族検診	3	0	2	1	0	2	0
接触者検診	3	0	3	0	0	1	0

(3) 結核対策特別促進事業実施状況

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、服薬確認法（DOTS）推進のために医療機関や地域の関係機関との連携強化を図り、管内結核患者の治療完了を徹底するとともに、再発及び薬剤耐性菌の出現を防止します。

ア 訪問DOTS延べ件数 14件

イ 結核の知識普及・啓発

庁舎を訪れる住民に対し、結核予防知識の普及を図った。

実施期間：令和元年9月17日～9月30日

場 所：熊野保健所、県熊野庁舎

内 容：ポスターの掲示、パンフレット配架

3 結核医療

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第37条及び37条の2に基づき、結核患者の医療費を負担し、適正医療の普及を図る。

(1) 保険者別公費負担状況（法第37条及び法第37条の2） 令和元年度

	被保険者		国保	後期 高齢者	生保	その他	計
	本人	家族					
申請件数	0	0	2	5	0	0	7
承認件数	0	0	2	4	0	0	6

(2) 入院勧告患者の異動状況 平成31年1月1日～令和元年12月31日（単位：人）

平成30 年末 現在	増			減							令和元 年末現 在
	新規	転入	計	治ゆ	軽快	死亡	自己 退院	転出	その他	計	
0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0

(3) 法第37条の規定による公費負担状況 平成31年1月1日～令和元年12月31日

平成30年末	新規件数	継続件数	解除件数	令和元年末
0	1	2	1	0

4 結核健康診断補助金

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第60条に基づき、結核患者の早期発見、予防を図るため、集団生活を営む学生・社会福祉施設入所者に対し、施設の長が行う定期健康診断を行うために必要な経費の一部を補助する。

(1) 補助金申請施設数 1施設

(2) 補助金交付施設数 1施設

第2節 「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～

施策232 結婚・妊娠・出産の支援

基本事業23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 母子保健サービスを促進するため、市町の取組を支援します。
- 2 長期療養児、思春期を対象とした専門的なサービスの提供や、小児慢性特定疾病医療費助成により適切な医療が受けられるよう支援を行います。

1 母子医療給付事業

(1) 小児慢性特定疾病医療費支給認定(市町別・疾病別給付状況) 令和元年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
悪性新生物	8	2	1	11
慢性腎疾患	0	0	1	1
慢性心疾患	2	0	3	5
内分泌疾患	3	4	2	9
糖尿病	3	0	0	3
先天性代謝異常	0	0	1	1
血液疾患	1	1	0	2
神経・筋疾患	2	1	0	3
慢性消化器疾患	0	1	0	1
計	19	9	8	36

※熊野保健所管内において給付のない疾患は掲載せず。

(2) 特定不妊治療費助成事業(市町別給付状況延べ件数) 令和元年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
件数	11	10	4	25

2 健やか親子支援事業

(1) 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

ア 長期療養児等への家庭訪問 4件

イ のびのび療育相談（肢体不自由児巡回相談）

実施日	場所	スタッフ	受診者数
令和元年 5月30日	紀南病院 すこやかルーム	三重県子ども心身発達医療センター （医師・臨床心理士・PT・OT・ST） 熊野保健所（保健師）	16名
令和元年 8月30日			17名
令和元年11月29日			21名
令和2年 3月 6日			中止

(2) 思春期保健

ア 健康教育

実施日	対象	内容	参加者数
令和元年 6月19日	管内高等学校 生徒、教員、関係者	性感染症予防、デートDV	194名
令和元年 7月 2日		たばこ、薬物乱用	12名
令和元年12月17日		性感染症予防、デートDV	54名

イ 電話相談 4件

(3) 母子保健体制の整備

紀南地域母子保健医療推進協議会への参加

代表者会議	1回
実務委員会	1回
連絡会議	2回
継続ケアワーキング	2回
事務局会議	10回
打ち合わせ	5回
講演会	2回

(4) 児童相談所との連携

要保護児童対策地域協議会への参加 9回

保健所年報（令和2年度版）

三重県熊野保健所

〒519-4324 三重県熊野市井戸町 383 番地

電話 0597-85-2158（代表番号）

E-mail khoken@pref.mie.lg.jp